

平成26年6月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成26年6月26日 (木)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時30分	
3 出席委員	委員長	塩田澄子	
	委員	曾田佳代子	
	委員	奥津晋	
	委員(教育長)	山脇健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	渡辺和夫	教育次長	植田朋哉
統括審議監(企画調整担当)	佐々木辰昭	審議監(学校教育担当)	天野和弘
審議監(生涯学習担当)	山口啓二	審議監(保健体育担当)(保健体育課長事務取扱)	長畑智
教育企画総務課長	長瀬尚樹	人事財務課長	荻野拓志
指導課長	堀井博司	指導課教育支援担当課長	山崎克磨
生涯学習課長	安友公夫	中央図書館長	宮本嘉彦
こども企画総務課次世代育成担当課長	光藤伸史		
事務局(教育企画総務課課長代理)	赤野政治	事務局(教育企画総務課指導副主査)	林俊雄
5 議題及び結果			
報告第29号 専決処理の報告(平成26年度岡山市一般会計補正予算(第1号)案のうち、教育委員会分の教育費予算案への同意について 原案可決)			
6 教育長等の報告 [平成26年5月17日(土)～平成26年6月13日(金)]			
5/17	ビブリオバトル	中央図書館	
5/17～5/25	企画展示「郷土力士と大相撲展～常ノ花横綱昇進90周年」	中央図書館	
5/21, 23, 26, 28	いきいき学校園づくり	指導課	
5/28～6/13	企画展示「横綱常の花と岡山市立中央図書館の相撲関係資料」	中央図書館	
5/29, 30	いきいき学校園づくり	指導課	
5/31	デジタルカメラ撮影入門教室	中央図書館	
6/1	めだかの学校環境まつり	生涯学習課	

6/1～6/13	企画展示「ワールドカップ応援コーナー」	中央図書館
6/2, 3, 4, 5, 6, 9	いきいき学校園づくり	指導課
6/9	こらぼミーティング	教育企画総務課
6/12	P T A指導者研修	生涯学習課
6/13	新成人の集い第1回実行委員会	こども企画総務課
委員長	○ 6月9日のコラボミーティングに参加できなかったので、様子を報告願いたい。	
教育総務企画課長	○ 6月9日の10時～12時に開催し、職員との懇談を1時間、施設の見学を1時間行った。相談員からは、教育委員が足を運んで思いを受け止めてくださってありがたかった、注文のようなこともさせていただいたが、これまでそのような窓口がなかったので、直接思いや意見を伝えることができてよかった、今後もこのような取組を密にやっていただけたらという話であった。 教育相談室の方からは、いじめ専門相談員の方がまだ1名見つかっていないので、早期に見つけて体制を充実させたい、もう少し相談員自体がフレキシブルに動いていけたらどうか、というような意見があった。 あおぞら清輝については、小学生が少ないのは、小学生については学校復帰を第一に考えているところがあり、中学生よりは小学生の方が、学校の中で支援ができる体制にもっていけるようにしているというような、学校種によって対応の仕方が異なるといったことも教育委員に承知いただけたかと思っている。 また、事前に質問を用意したことで、施設側も準備ができ、短い時間であったが内容の濃い意見交換ができたと感じている。こういう機会を定例的に設けていけたらと思っている。	
曾田委員	○ いい企画だと思った。実際の生徒達の活動が見えたのがよかった。また、意識することなくごく普通の活動を見せてもらったのがよかった。こちらの聞きたいことをペーパーにまとめてくださり、教育相談室も適応指導教室も前向きに返してくれたので、とても参考になった。	
奥津委員	○ あおぞら清輝については、どのような活動をしているかが理解できた。教育相談室については、かなりの相談件数だが、平均すると1件あたり十何回、数回で終了する相談もあるだろうから、だいたい年間で20回くらい1つのケースについて継続的に対応しているのかと思う。1つのケースを単発で捉えるのではなく、原則として同じ相談員が継続的に関わっていくのが良いように思った。	
教育長	○ 教育相談室と適応指導教室の中間に位置付くような、南ルームという、個別の対応をする場があるが、そのあたりについてはどう考えるか。	
指導課学校教育担当課長	○ 適応指導教室であれば小集団で活動することになるが、その小集団に入ることも難しい、個別の1対1でないと難しいというような子どもに個別に対応するために南ルームという場を設け、その中で、徐々に小集団の方に移行していくような取組を行っている。	
教育長	○ 個別、小集団から学校へという移行を見据えながら対応するというのが岡山の基本であり、特徴でもあるのではないかと思う。	
曾田委員	○ いいシステムだと思う。ただ、非行系の子どもが学校ごとで集まってきたときに、接点ができすぎると困るかなという懸念も聞かれた。それでも友達ができるのはいいことかもしれない。 今はそれほどの人数はいないのか。	
指導課学校教育担当課長	○ 一部復帰を入れて、80%～90%の子どもが何らかの形で学校に復帰して	

<p>曾田委員 中央図書館長</p>	<p>いる。完全に学校に復帰できたという子どもの割合はだいたい15～20%の間で推移している。</p> <p>○ ビブリオバトルは最近流行っているようだが、たくさん本が選ばれたのか、1冊だけ選ばれたのか。</p>
<p>曾田委員 中央図書館長</p>	<p>○ ビブリオバトルとは基本的には、発表者がお薦めの本を紹介し、それについて質疑応答を行い、聴衆と発表者が一緒になって、どの本が一番良かったかを決めるというものであり、最終的には1冊を決めるという仕組み。</p>
<p>曾田委員 中央図書館長</p>	<p>○ 何という本が選ばれたのか。</p> <p>○ 『症例A』という本で、大学生の方が紹介していたものが選ばれた。紹介された本は、恋愛小説からハードボイルド、映画化された海外ミステリー、古典のようなものなど様々である。NHKのアナウンサーも参加されたということで盛況であり、発表者6名、聴衆が8名、全体24名で、活発に意見が交わされた。県外からの参加者もいたとのことである。</p>
<p>曾田委員 中央図書館長</p>	<p>○ どのように広報したのか。</p> <p>○ ビブリオバトルの公式HP、図書館のHP、図書館が始めているツイッターやfacebookなどである。このほか、学校などにチラシを配布していると思う。また、西大寺の百花祭というイベントの一つとしてやっているのだから、そのような点からも宣伝できたと思う。</p>
<p>曾田委員 中央図書館長 曾田委員 中央図書館長</p>	<p>○ 市の図書館などでは同様の取組をやらないのか。</p> <p>○ 今回好評だったということなので、今後検討していきたい。</p> <p>○ 若者が集まって自分を表現できるというのは良いことだ。</p> <p>○ 参加者の年代も、高校生、大学生から、30代、40代、上は60代まで様々であった。</p>
<p>曾田委員 中央図書館長 委員長</p>	<p>○ 今月の一押しのように、選ばれた本を図書館で紹介するようなことができればよい。</p> <p>○ そのようなことも含めて検討していきたい。</p> <p>○ 新成人の集い第1回実行委員会について、応募が11人で、参加者が9人となっているが、残り2人はどうしたのか。</p>
<p>子ども企画総務課長 委員長</p>	<p>○ 当日都合が悪くなって参加できなかった。その後も応募があり、現在14名が参加予定になっている。去年は23人の実行委員が集まった。今もまだ募集をかけている。</p> <p>○ 例年、中に入っていく成人が少ない。もう少し多くの人に中に入ってもらえるような仕組みを検討してもらいたい。</p>
<p>曾田委員 生涯学習課長 委員長</p>	<p>○ めだかの学校環境まつりの参加者は、1,200人と多くの参加があったようだが、これは親子か、地域の人に参加しているのか。</p> <p>○ 親子連れの参加が多いようである。</p> <p>○ 環境に関する展示などを行っているのか。参加できるようなプログラムもあるのか。</p>
<p>生涯学習課長 曾田委員 生涯学習課長</p>	<p>○ 様々な体験コーナーを設けている。自然に親しむということで木のペンダントを作る活動やめだかすくい、カヌー体験、キャンドルづくりなどの事業をやっている。</p> <p>○ ESDとは絡めていないのか。</p> <p>○ 内容としてはESDと関連するものがあるが、特にESDという言葉を使うことはしていない。</p>
<p>曾田委員 生涯学習課長</p>	<p>○ 参加者が多かったのはどのような理由か。</p> <p>○ 去年は1,500人が参加している。</p>
<p>奥津委員 生涯学習課長</p>	<p>○ 参加者が多かったのはどのような理由か。</p> <p>○ 去年は1,500人が参加している。</p>

<p>委員長 生涯学習課長</p>	<p>○ ESD 世界大会の開催後、どのように継続していくかという話も出ている。このような毎年実施されるイベントと絡めて継続させていくべきではないか。 ○ 実行委員会の反省の中でも、ESD をどンドンアピールするような形で進めていきたいという声が出ている。</p>
<p>7 議事の概要</p>	
<p>委員長 委員長 全委員 委員長 全委員 委員長 全委員 委員長 委員長 全委員 委員長 委員長 人事財務課長 曾田委員 指導課教育支援担当課長 曾田委員 指導課教育支援担当課長 曾田委員 指導課教育支援担当課長 曾田委員 指導課教育支援担当課長 委員長 保健体育課長 委員長</p>	<p>○ 平成26年6月定例岡山市教育委員会を開催する。 ○ 本日の傍聴希望者は1名。入室してもらってよいか。 ○ <承認> ○ 日程第1, 会期は本日1日限りとしてよいか。 ○ <承認> ○ 日程第2, 5月定例会の議事録に問題はないか。 ○ <承認> ○ 日程第3, 事業報告について質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載) ○ 議事に入る前に会議の公開・非公開について諮る。 日程第5の第19号議案は、附属機関等の委員の任免に関する事項として、会議規則第9条第1項第2号に該当するため、非公開としたいが、よいか。 ○ <承認> ○ それでは、日程第5の第19号議案は、非公開とする。 ○ 日程第4, 報告第29号について説明願う。 ○ 説明(第29号議案の資料に沿って説明) ○ 国の予算は今後も年々伸びていくような方向なのか。 ○ 文科省の今後の方向性はまだ把握できていない。固定して5日間常勤で勤務するなどの方法を最近では検討しているような状況である。この予算が今後どうなっていくかは現段階では何とも言えない。 ○ いろんな調査で、スクールカウンセラーとあわせてスクールソーシャルワーカーの方が、効果があるのではないかと都道府県もある。岡山は子ども相談主事なんだろうが、それについては国庫は出ているか。 ○ スクールソーシャルワーカーも同様に3分の1補助で国が事業を行っている。 ○ 岡山はまだスクールカウンセラーの人数の方が断然多いと思うが、だんだん拮抗してくるのか。 ○ まだカウンセラーと比較するくらいの人数にはなっていない。社会福祉士、精神保健福祉士の資格を持っている方が、まだ少ない。 ○ だんだんスクールソーシャルワーカーの方に頼らないといけないような部分が出てきているようだが、数的にはまだなのか。また、スクールカウンセラーの資格を持った人は安定的に供給されているのか。 ○ 大学の心理系の学部が増えてきたので、以前に比べれば、有資格者は増えてきていると思う。ただ、需要も増えてきており、人材確保はぎりぎりで行っているような状況。 ○ せっかく国から支出があるということであれば、早く人を見つけて配置して、活用できればよい。 ○ スーパー食育スクールについては単年の予算なのか。 ○ 1年である。 ○ じゃあ1年で成果を出すということなのか。</p>

保健体育課長	○ 補助事業なので、事業としては1年ごとに検証するという形になるが、国としては、国の財政が許せば3年は計画を立ててやっていきたいということのようである。
委員長	○ それは同じ学校でということか。
保健体育課長	○ その詰めは国の方もできていないようである。
曾田委員	○ 1年で事業をやるとして、学ぶ意欲や健康状態など、現在のデータがあつて、1年後にデータをまた計測し、検証できるような形にしていくのか。
保健体育課長	○ 体力測定やアンケート調査などは終わっているのですが、それが、食育を進めた後に、どう変わっていくかという検証をする形になる。その中学校を選んだのは、すでに国と同じような事業を4年間やっており、蓄積や素地があるということで選んだ。
曾田委員	○ 食育そのものは栄養教諭もいるので、それは分かるが、副次的に、学ぶ意欲や学力までにつなげていこうとしたら、ビフォーアフターが1年では大変かなあと思った。
保健体育課長	○ 学力というのは、意欲も含めた総合的な学力ということで考えている。昨年までの検証の中でもかなり良い形のもので出つつあるということ現場の方も感じているようである。今回やってみても、きっと良い方向に行くのではないかと期待をしている。
曾田委員	○ もうできているということか。
奥津委員	○ 逆に、こんな新しいことをやるというのは考えているのか。
保健体育課長	○ 今回、国の予算がつくので、ばらばらであった組織をまとめて推進委員会を作る。ドクターを入れ、専門の機器をリースして、ドクターの見地から子どもたちの状況を診断をしていただき、その上で助言を得るようにしているので、今までより少し詳しいものになると思う。
曾田委員	○ ここの学校は栄養教諭がいるからできた、というだけではよくない。モデル事業なのであれば、市内にノウハウを伝えていく方向ということでよいか。
保健体育課長	○ もちろんそうである。栄養教諭に関しては、市費の栄養職員もほとんど資格を持っているので、同様のことはできると思う。
委員長	○ 質問、意見はないか。なければ、第29号議案を承認してよいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 第29号議案を承認する。
委員長	○ 以上で、公開議案の審議は全て終了する。

傍聴の状況		
報	道	1名
一	般	0名

平成26年6月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成26年6月26日（木）		
2 開会及び閉会	開 会	14時30分	
	閉 会	14時37分	
3 出席委員	委 員 長	塩 田 澄 子	
	委 員	曾 田 佳 代 子	
	委 員	奥 津 晋	
	委員（教育長）	山 脇 健	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	渡 辺 和 夫	教育次長	植 田 朋 哉
統括審議監（企画調整担当）	佐々木 辰 昭	審議監（学校教育担当）	天 野 和 弘
審議監（生涯学習担当）	山 口 啓 二	教育企画総務課長	長 瀬 尚 樹
生涯学習課長	安 友 公 夫		
事務局（教育企画総務課課長代理）	赤 野 政 治	事務局（教育企画総務課指導副主査）	林 俊 雄
5 議題及び結果			
第19号議案 岡山市社会教育委員の委嘱について	原案可決		